

医療の安全に関する研究会 第13回 研究大会

「医療ガスの安全使用を考える」

～医療現場や在宅医療に潜む諸問題～

日 時：2008年11月29日（土）10:00～17:00
場 所：芝浦工業大学 豊洲キャンパス 大講義室（階段教室）
(東京都江東区豊洲3-7-5)
参加費：一般 3,000円 会員 2,000円 学生 1,000円

医療機関では、多くの医療ガスや一般ガスが使われています。
医療ガスは、医薬品であり高圧ガスです。
液体から気体へとカタチを変えて使用するものもあります。
特に、「酸素」は、かけがえのない生命維持ガスです。
その特殊性をもつ医療ガスのより安全を求める研究大会です。
一般の皆さま方もどうぞご参加ください。お待ちしています。

プログラム

＜午前の部＞
9:30 受付開始
□ 総合司会 斎藤 悅子（学校法人名古屋医専副校長 教授）
10:00 理事長挨拶
□ 島田 康弘（名古屋大学 名誉教授）
10:10 大会長講演「医療ガスの社会的使命と安全」
□ 江場 康雄（株式会社エバ 代表取締役）
□ 司会 加藤 良夫（弁護士 南山大学法科大学院 教授）
10:40 特別研究発表
□ 司会 松葉 和久（名城大学薬学部 教授）
①「医療ガスが関わった事故の態様と教訓」
□ 中島 太郎（元日本医療ガス協会 技術顧問）
②「阪神淡路震災が教える医療ガスの災害対策」
□ 岡野 洋太郎（株式会社神戸サンソ 代表取締役社長）
③「医療ガスの品質と安全管理～フランスの現状～」
□ ザビエル リゴロ（日本エア・リキード株式会社 常務執行役員）
④「医療ガス情報担当者（MGR）認定制度への期待」
□ 中山 喜志男（有限責任中間法人日本産業・医療ガス協会 顧問）
⑤「医療ガス安全・管理委員会のあり方ガイド」
□ 酒井 順哉（名城大学大学院、医療ガス安全研究会）
12:20 昼食休憩

＜午後の部＞
13:20 「医療の安全に関する川柳」講評
□ 大木 俊秀（NHK学園）
□ 司会 吉田 嘉宏（医療を良くする会代表世話人）
13:45 特別講演「今、再び『医療ガスの安全』について考える」
□ 渡辺 敏（財団法人医療機器センター 理事長）
□ 司会 堤 寛（藤田保健衛生大学医学部第一病理学 教授）
14:15 シンポジウム「医療ガスの安全使用を考える」
□ 司会 酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科 保健医療情報学 教授）
□ 演題・講師
①「医療ガス安全管理体制への行政の取り組みと諸問題」
□ 清 哲朗（厚生労働省医政局指導課 医療放射線管理専門官）
②「医療ガス容器の安全管理と薬事法上の問題指摘」
□ 折井 孝男（薬剤師 NTT東日本関東病院 薬剤部長）
③「医療ガス設備の保守点検は万全か」
□ 那須野 修一（日本臨床工学技士会 安全対策委員長）
④「患者から見た医療ガスの特殊性と安全」
□ 大谷 貴子（全国骨髄バンク推進連絡協議会 会長）
総括発言 渡辺 敏（医療機器センター 理事長）
16:55 次期大会長挨拶 増田 聖子（弁護士 増田法律事務所）

主催：医療の安全に関する研究会

<http://www.urban.meijo-u.ac.jp/zsakai/iryou-anzen/>

〒461-0001
名古屋市東区泉1丁目1-35
ハイエスト久屋6階 センター気付
TEL 052-951-3931 FAX 052-951-3932

後援：有限責任中間法人

特定非営利活動法人（NPO）
日本産業・医療ガス協会 日本呼吸器障害者情報センター

お申し込み方法

郵便振替にて参加費をお振り込み下さい。「参加証」をお送りします。

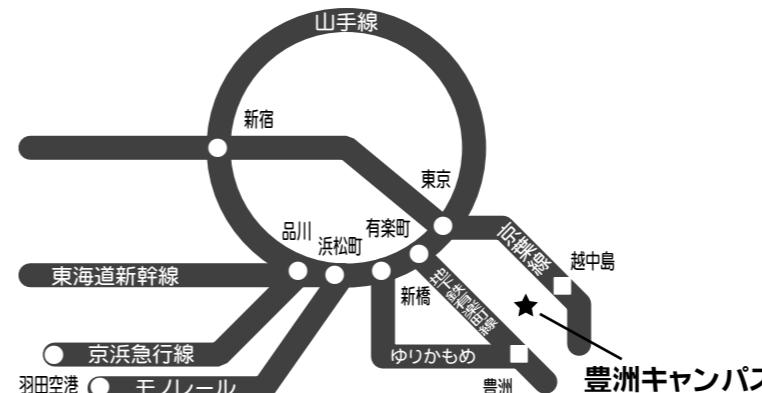
口座番号：00870-7-104540

口座名義：医療の安全に関する研究会

参 加 費：一般 3,000円 会員 2,000円 学生 1,000円

当日、資料を参加者全員に配布できるように準備しますので、
できるだけ事前申込みをお願いします。

会場への交通機関



● 東京駅より

JR山手線 有楽町駅にて地下鉄有楽町線へ乗換
豊洲駅下車（所要時間：約20分）

● 羽田空港より

京急本線 品川駅にてJR山手線へ乗換
有楽町駅にて地下鉄有楽町線へ乗換
豊洲駅下車（所要時間：約45分）

会場のご案内

《 芝浦工業大学 豊洲キャンパス 》

● 地下鉄

有楽町線豊洲駅1aまたは3番出口から徒歩7分

● JR線

JR京葉線越中島駅2番出口から徒歩15分



詳しくは芝浦工業大学のホームページ

http://www.shibaura-it.ac.jp/access/toyosu_map.htmlをご覧ください。